

Phoenix Club

第8号

第4回 広島大学ホームカミングデー 平成22年11月6日(土)10:30~ 広島大学東広島キャンパス

参加
無料



写真は2009(平成21)年「広島大学創立60周年記念事業 第3回広島大学ホームカミングデー」のものです。

「会いたい人」に会い、「聞きたい話」を聴く。広島大学ホームカミングデーの楽しみ。



「泣いて笑ってボランティア珍道中」 心豊かに自分らしく生きる」 東ちづる氏

【プロフィール】

広島県出身の女優。ドラマからラジオ、講演、CM、司会、エッセイ執筆など幅広く活躍中。
一方、骨髄バンクやドイツ平和村のボランティア、障がい者アート支援の活動なども続けている。これらのボランティア活動での思いを綴った『わたしを忘れないで〜ドイツ平和村より』(ブックマン社)をはじめ『私』はなぜカウンセリングを受けたのか〜「いい人、やめた!」母と娘の挑戦』(マガジンハウス)など著作も多数。近著に、いのち、人生、生活、世間を考えるエッセイ「らいふ」(講談社)。

「お嫁さんになりたい女性有名人ナンバー1」に選ばれるほど、好感度の高い女優、東ちづるさん。現在も土曜ワイド劇場『温泉若おかみの殺人推理』シリーズの中川美奈役で活躍中です。ドラマ以外にも『スーパードール』のコメントーターやCMなど、テレビで会う機会も多いのですが、同時に骨髄バンクやドイツ平和村のボランティア活動も続けておられます。そうした生き方のすべてを含めて、現在「好感度バツグンの女性」です。

東ちづる氏 文化講演 13:30~14:30
会場：サタケメモリアルホール



「食の冒険家が語る旅への誘い」 小泉武夫氏 (東京農業大学名誉教授)

【プロフィール】

1943(昭和18)年、福島県で370年続いている造り酒屋に生まれる。農学博士。専門は発酵学、食文化論。小さい時から冒険心旺盛で、とりわけ自然や食に強く興味を抱き、日本国内はもちろん、世界84カ国の食べもの調査を行ってきた。日本エッセイストクラブからベストエッセイストに選ばれ、学校図書出版賞、産経児童出版文化賞など多数を受賞している。
文筆家としても知られ、食をテーマにした本は単著で110冊を数えている。最近では作家として時代小説まで発表。多才ぶりに磨きをかけている。

「日経新聞(夕刊)」に17年間にわたり連載中の『食あれば楽あり』を愛読している人。テレビ番組で世界の「食」を話す先生の話に興味をそそられた人。『不味い!』(新潮文庫)、『納豆の快楽』(講談社文庫)などの本を読んで自分の食生活を見直した人。さまざまなかたちで小泉先生と接した人は多いのではないだろうか。
辺境を含めて世界中の奇食珍食を知る「食の冒険家」としても知られる先生がどんな食世界を語ってくくださるか、講演が楽しみです。

小泉武夫氏 学術講演 11:00~12:00
会場：サタケメモリアルホール

第4回広島大学ホームカミングデー

平成22年11月6日(土) 10:30～ 広島大学東広島キャンパス

メイン会場：サタケメモリアルホール

9:30～ 受付開始

10:30～11:00 オープニングセレモニー

- オープニング演奏
- 学長挨拶等
- 広島大学歌 演奏・斉唱

11:00～12:00 学術講演 小泉武夫氏

13:30～14:30 文化講演 東ちづる氏

●学部・研究科パネルプレゼンテーション (10:30～17:00)
 学生会館レセプションホール ロビー
 学部・研究科が、ホームカミングデーのためにオリジナルパネルを企画・制作。広大のムーブメントを実感していただけるパネル展です。

●連携市町の物産展 (10:30～17:00)
 サタケメモリアルホール前広場
 東広島市、三次市、世羅町などの物産が結集。

●広島大学の歴史展 (広島大学文書館) (10:30～17:00) サタケメモリアルホールロビー
 懐かしい写真をパネル展示

●懇親会 (会費制) (15:30～17:00 学生会館レセプションホール)
 有名な西条のお酒や懐かしい人たちの時間をお楽しみください!

●健康相談 (10:30～17:00) 保健管理センター

●学生プラザ交流コーナー (10:30～17:00 学生プラザ1階)



●学生企画 (10:30～17:00)
 HCD在学生チームが先輩やご来場の皆さんをおもてなし。

●東広島天文台観望会 (17:30～18:30 東広島天文台)
 世界的なビッグプロジェクト『Fermiガンマ線天文衛星』の一拠点となっている天文台です。国内有数の望遠鏡で木星など美しい宇宙をご堪能ください。
 ※天文台へのマイクロバスの送迎有り。

同時開催

●大学祭 11/6(土)、7(日) (10:00～20:00)

●E-Storm(教育学部祭) 11/6(土)、7(日) (10:00～19:00)



学部・研究科企画

文学部・文学研究科

復元古代製鉄炉による製鉄実験
 時 10:30～16:00
 所 文学研究科正面玄関前広場 ①
 県史跡カナクログ製鉄遺跡の製鉄炉モデルを復元し、古代製鉄法を検証します。

世界とふれあう語学カフェ
 時 13:30～15:30
 所 文学研究科 B153講義室 ②
 講義棟1階学生ロビー
 イタリア・ミャンマー・中国などからの留学生とお茶を飲みながら、気軽に異文化とふれあいます。

問 文学研究科 運営支援グループ
 TEL082-424-6604

理学部・理学研究科

生物科学同窓会
 時 13:00～15:00
 所 理学研究科 B603・B604 ③
 OBの基調講演。懇親会では懐かしい写真を集めてのスライドショーも計画。研究室訪問。(希望者) 生物科学科同窓会庶務幹事
 TEL082-424-7439

化学科研究報告会と親睦会
 時 15:00～18:00
 所 理学研究科E209講義室 ④
 各研究グループの最新研究成果紹介と、同窓生と在学生・職員の交流。

問 化学科・化学科長
 TEL082-424-7416

教育学部・教育学研究科

演奏会
 時 14:00～15:30
 所 教育学研究科 F棟101号室 ⑤
 オーディション選抜学生による演奏会

体育セミナー
 時 16:15～17:45
 所 教育学研究科管理棟2階 第一会議室 ⑥
 教育講演会「広島大学の現在(仮)」
 講師：坂越正樹 広島大学副学長
 教育セミナー「プロのバレーボールプレイヤーから教育者へ」
 講師：増野彰氏(元・堺ブレザーズ所属)

問 教育学研究科 総務担当
 TEL082-424-6705

生物生産学部・生物圏科学研究科

講演会と意見交換会
 時 14:30～16:00
 所 生物生産学部 C206講義室 ⑦
 " 第一会議室

◆研究科長挨拶及び近況報告
 ◆講演会
 学部生・大学院生のキャリアアップ教育に関連した講演
 ◆卒業生との意見交換会

問 生物圏科学研究科 運営支援グループ
 TEL082-424-7904

先端物質科学研究科

研究室公開
 時 10:30～14:20
 所 先端物質科学研究科 ⑧

- ・量子物質科学専攻研究グループ
- ・分子生命機能科学専攻研究グループ
- ・半導体集積科学専攻研究グループ

ポスター展示
 問 先端物質科学研究科 運営支援グループ
 TEL082-424-7004

国際協力研究科

講義&ワークショップ
 時 14:00～17:00
 所 国際協力研究科1階大会議室 ⑨

懐かしの講義
 修了生対象アンケートにより「もう一度受けたい授業」を再現します。

講義「低炭素社会に向けた国際協力」
 都市・地域開発第2課長小泉幸弘氏
 ワークショップ「どうする? IDEC」
 地域内の連携・修了生との連携・国際環境リーダーの育成など、今後のIDECの戦略を探ります。
 使用言語:英語および日本語

問 国際協力研究科 担当
 TEL082-424-6921

医学部・歯学部・薬学部・医歯薬学総合研究科・保健学研究科

講演会
 時 16:00～17:30
 所 広島市南区 霞キャンパス 医学部第5講義室
 「心のキャッチボール」
 達川光男氏(野球解説者)

親睦会
 時 17:45～19:00
 広島市南区 霞キャンパス 霞会館2階食堂

問 医歯薬学総合研究科等支援室
 TEL082-257-5601

霞キャンパスへの交通

【JR広島駅から】
 ■広電バス 大学病院行き (所要時間約15分)
 ■広島バス 旭町線 (所要時間約15分)

【JR横川駅から】
 ■広島バス 大学病院行

【JR西広島駅から】
 ■広電バス 大学病院・旭町方面

【広島バスセンターから】
 ■広島バス 横県線

【広島港から】
 ■広島電鉄「比治山橋」下車+ 広島バス 23号線・広電バス 10号線





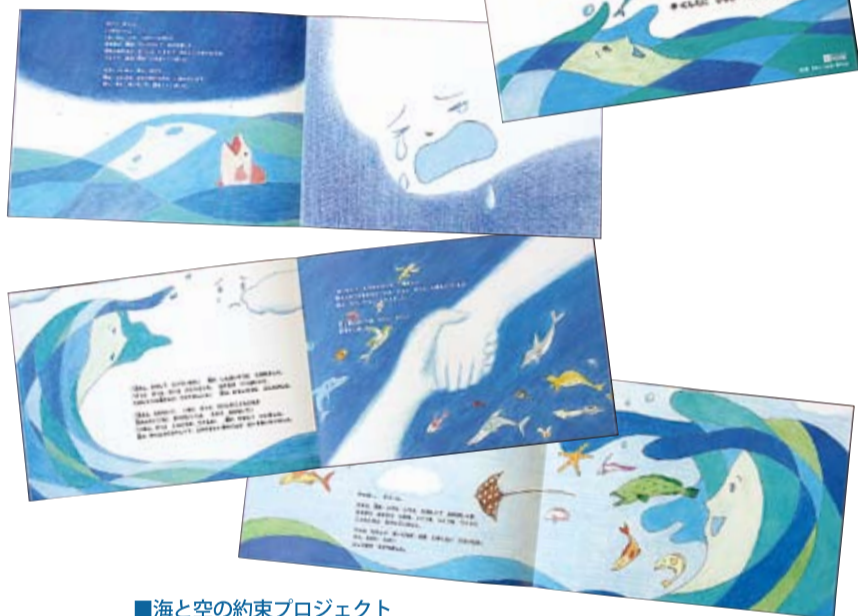
『海と空の約束プロジェクト』代表
西谷 寛さん

1979年 水畜産学部(現生物生産学部)卒業

多様な生命や自然への視点

『海と空の約束』は、地球誕生から、はるか昔の流れる中で受け継がれてきた生命の循環を、子どもたちにもすんなりと理解できるように、やさしく描いた、環境絵本です。

作者の西谷さんは、1人でも多くの人にメッセージを受け取ってもらおうと、『海と空の約束プロジェクト』として、多彩な活動を展開しています。神戸市職員として仕事をしながら、絵本や紙芝居の寄贈先の開拓、紙芝居を抱えてのセミナーなど、エネルギーギッシュに行動。「勘違いと、根拠のない自信が私のエネルギー」と笑いながら、目標に向けて突き進んでいます。



■海と空の約束プロジェクト

『海と空の約束』(作:西谷寛、絵:有村綾)の絵本と紙芝居を使い、環境教育を支援する活動。絵本、紙芝居の寄贈や、読み聞かせ会、絵本原画展など環境学習イベントの支援、『海と空の約束賞』など、多彩な活動を展開している。

ホームページ: <http://umisora.petit.cc/>
問い合わせ先: happy24tani@ybb.ne.jp

「根っこに」広島大学

娘のために書いた童話『海と空の約束』を自費出版しようと思ったとき、まず考えたのは「広島大学」でした。

広島大学は、やはり、私の原点です。自然のこと、生態系のこと、海のこと、すべて大学時代に勉強したことが土台になっている。だから、まず、推薦文を上真二先生にお願いしようと思いました。現在は広大の副学長ですが、私が学生の頃、助手としていろいろ教えていただいた方です。自費出版で、謝礼をお支払いすることもできませんが(笑)。ええ、快諾してくださいと、上先生と、やはり学部先輩のジャズミュージシャン、坂田明さんの推薦文をいただくことができました。プロジェクトの活動をサポートしてくれているのも、広大の友人たちです。

子どもたちに読んでほしいと、小学校や児童館に贈呈することを思いつきましてね、まず、広大のあるまじにプレゼントしよう。ここでも友人たちが動いてくれて、大学から声をかけていただき、東広島市の小学校や児童館に置いていただくことになりました。広島大学という基盤の上に『海と空の約束プロジェクト』が動いている——そう思っています。

「絵本と紙芝居で子どもに語る

私、2年ほど、環境省に出席してゴミ問題を担当していたんですが、その時痛感したんです。子どもたちに大事なことを伝えようと思つたら知識だけでは不十分。心に響くメッセージが必要だと。「心に響きさえすれば、子どもたちは必ず、思い出して学び、成長していきます」。

今では、絵本だけでなく紙芝居も作っているんです。B4サイズと、さらに大型の紙芝居。どちらも手作りです。インクジェットプリンターでプリントして、貼り合わせて、手作り感あふれる紙芝居でね(笑)。でも、これが人気でね、おかげで、いろいろなイベントに声がかかるようになりました。ええ、声をかけてくだされば、紙芝居を持って、どこでも行きます。7月には兵庫県立大学環境人間学部にも呼んでいただきました。こうした活動を通して、子どもたちが素直に、地球上のすべてのものは、関係し合いながら生きて、互いに影響し合いながら地球を構成しているのだということを理解してくれればうれしい。



「支援者、開拓中

この春から絵本の寄贈を始めてから数カ月、少しずつですが、確実に手応えが広がっています。話を聞いて、まとまった数を購入してくださる企業もできています。イベント参加やセミナーの依頼も多くなってきました。私、ツテを頼って、いろいろな企業さんに営業したんですよ。航空会社にも「飛行機に乗せてほしい」とお願いに行った。おかげで、JALとスカイマークエアラインズに乗せていただけることになりましたし、英訳絵本が出来上がったら、国際線の航空会社にも交渉するつもりです。

自分で行動することはちつとも苦にならない。もつと面白いことができる、もつとすごい広がりができる……想像がどんどん膨らんでね、家族や周囲には「勘違い」だとか「根拠のない自信」だとか、笑われますがね。

「仕事として人のために働く

寄贈だけじゃなく、書店やネットでも販売しています。自費出版ですから、売れてくれればうれしい。大赤字のプロジェクトの活動資金が増えて、もつといろいろなことができますから。

同窓生の皆さま、ぜひ、応援してください！公務員はね、仕事として人のために働ける仕事です。阪神淡路大震災を経験して、私心から思いました。公務員でよかった。たくさんのボランティアが神戸の人を支えてくださいました。私たちは「仕事」としても「ボランティア」としても、人や社会のために働くことができます。ありがたいことです。『海と空の約束プロジェクト』も、その思いの延長線上にあります。



■西谷寛さんプロフィール■
兵庫県明石市出身。海が好きで、広島大学水畜産学部水産学科へ。卒業後、神戸市職員。現在は環境局環境評価共生推進室長。日本児童文学者協会会員。

西谷さんの広島大学時代

「大学では自然科学とスポーツとアルバイト専攻」とブログに書いてある。「自然科学」は、もちろん水産学科での経験。中でも、口之永良部島や仙酔島の海洋研究所で触れた自然はインパクトが大きかったという。

「スポーツ」は水泳と自転車とテニス。4年間水泳部に所属して、泳ぎよりもフェニックス駅伝で水泳部の活躍に貢献した。自転車は、工学部生の兄の影響。水泳部で遠征した後、自転車でも広島までツーリングしたというから、驚くべき体力！当時の自転車は、30年経った現在でも実用に耐えるほど、手入れを続けている。

「アルバイト」は、チンチン電車の車掌。広島市東千田キャンパスでの一般教養時代、朝6時から出勤していた。福山キャンパスでの専門教育時代の最高の出会いは雅子夫人。教育学部生だった。

先輩インタビューの後で



秋月(写真左)／教育学部「えこ・ページ」代表

「多くの子どもたちに、環境、自然を守ることに大切さを伝えたいという志を感じました。自然に触れる機会が少なくなっている子どもたちには、海や空を守っていくという思いを持ってもらうために、この作品を私たちの活動を通してもつと広めていこうと思います」



■広島大学「えこ・ページ」■
広島大学の環境サークル。西谷さんのプロジェクトに共鳴し、東広島市を中心として、『海と空の約束』の読み聞かせや環境活動をしています。

森岡(写真右)／総合科学研究科「勘違い・思い違いでもいい、自信をもって、やりたいことを遠慮しないでやる」と繰り返して、やっていたのが印象的でした。まずはやってみることで、ちょっとした失敗でめげないこと——自分に言い聞かせます。

贈る言葉

先輩から



藤代 裕之さん
人気ブログ『ガ島通信』主宰、ウェブジャーナリズムの第一線を走り続ける。肩書きはNTTレゾナント(goo)社員だが、そのかわり、学習院大学をはじめ複数の大学の非常勤講師、執筆活動など多彩な活動を展開中。2009年から、ジャーナリストを目指す大学生のための『スイッチオンプロジェクト』のプログラムディレクターを務める。徳島県出身。広島大学文学部哲学科卒、徳島新聞記者を経て現職。

「つなげる」

ジャーナリストに必要なもの

ジャーナリストの使命は「つなげる」ことだと思っています。社会の表面に出ないこと、放っておけば知られないまま見過ごされる出来事や人に光を当てて伝え、誰かと誰か、誰かと何かをつなげる仕事。だから、つなげるべきものを見だし伝えるために、視野を広げ、書くスキルを身につける。それが、ジャーナリストとしての第一歩です。

ジョブズの言葉、ぼくの実感

アップルのCEO、スティーブ・ジョブズが、スタンフォード大学でスピーチをした。その時、「点と点が線になる」という話をしています。今は「点」しか見えなくても、振り返ってみると点がつながって「線」になる。で

も、未来に先回りして点と点をつなげて見ることはできない」と。

ジョブズの言葉のように、一つひとつの点をつないで線にできるかどうかは自分次第。失敗も寄り道も、無駄なものなど一つもないのです。

スイッチオンプロジェクトで大手広告代理店の人の話を聞いたとき、以前どこかで聞いた覚えがあるような気がした。ずっと引つかかっていたんですが、ある時思い出したんです。昔、西洋哲学のゼミで勉強したことだと。ぼくは出来の悪い学生でしたが、少人数のゼミで逃れようがなくて、仕方なく(笑)学んだことが、15年間、ずっと心の底に残っていた。その時は骨でしかなかったけど、社会で経験を積むうちに、肉が付いてしっかりした体になつてきたという感じ。ジョブズの言葉は、まさに、ぼくの実感でもありました。

ネットのつながり、リアルな広がり

今は、ネットを使って誰もが自分の思いを発信することができます。必ずしも読まれるとは限らないが、少なくとも発信はできる。それは素晴らしいこ

「贈る言葉」取材の後で

祖一(経済学部) 『スイッチオンプロジェクト』で学生と接しておられるためか、ぼくたちと同じ目線で話してくださっていることが感じられ、藤代さんの言葉はスッと胸に染みこんできました。こういふ先輩の話をもっと多くの広大生に聞いてほしいと思いました。河田(教育学部) 「いかに効率的に目標にたどり着くかが大切なのではない、考えることが重要なのだ」――進路に迷い、このままでいいのかと自問自答を繰り返していた私に、藤代さんの言葉はとても励みになりました。自分の頭で考え、自分の足で一歩一歩進めよう決めました。



キャンパス ZOOM



1階ロビーは学生のフリースペース。雑誌やテレビなども設置されている。

学生プラザ

学部・学科も世代も国籍も……さまざま違いを超えてあらゆる人々が交流できる場が誕生しました。

学生の「たまり場」誕生

夏休みに入って少なくなったとはいえ、学生プラザには、いつも学生たちの姿があります。先生をつかまえて話している学生、コンビニで買ったサンドイッチを食べる学生、夢中で本を読んでいる学生……「オープンしてまだ4カ月ですが、利用は進んでいるようです。今のところ、総合科学部で教養課程を履修している1、2年生が中心ですが、専門課程に進級した後も、親しみを感じて利用してくれたりうれい」と、教育室の山根グループリーダー。計画段階から学生プラザに関わってきた責任者です。

キャンパスライフを支える機能

学生プラザ1階は学生用のフリースペースですが、2、4階には、学生の生活を支援する機能が集約されています。



▲キャリアセンター



▲アクセシビリティセンター



▲学生生活総合支援窓口

校友会事務局から

■事務所を移転しました。上の「キャンパスZOOM」でもご紹介していますが、本年5月、校友会事務局が学生プラザ2階に移転しました。皆さま、どうぞ、気軽にお立ち寄りください。



▲校友会事務局入口は学生プラザ2F南側にあり、総合科学部H棟2Fと連絡通路でつながっています。入口ドアにはスタッフの写真と名前を掲示しています。



校友会事務局はこちら。校友の皆さまにすぐろいでいただける談話スペースも用意しています。ぜひ、お立ち寄りください。

卒業生情報登録について

校友間の交流事業の一環として、卒業生名簿整理を行っております。「校友会WEBSITE」より登録・変更できますので、広島大学出身の校友としてのつながりのためにもご協力をよろしくお願いたします。なお、ご登録いただいた方には、今後、広島大学校友会から定期的に情報をお届けします。登録料は無料です。詳しくは、「校友会WEBSITE」をご覧ください。

Phoenix Club

『Phoenix Club』Vol.8
平成22(2010)年8月31日発行
(年2回発行予定)

編集・発行: 広島大学校友会事務局
〒739-8514 広島市鏡山一丁目7番1号
学生プラザ2F
TEL & FAX (082)424-6015
月曜日から金曜日8:30~17:00(土・祝・日を除く)

E-mail ● sec@phoenix.hirodai.jp
Webサイト ● http://www.hiroshima-u.ac.jp/koyukai/